

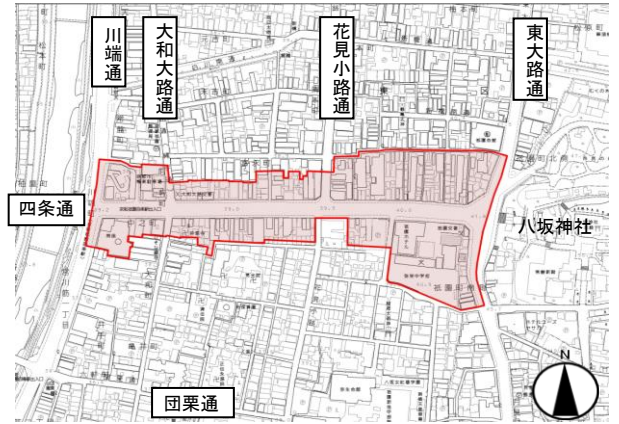
(1) 地域の概要

祇園四条地区は、八坂神社の門前町として、また、祇園の玄関口として発展したまちであり、伝統ある南座や数多くの小売・飲食の老舗が集積するなど、都心商業機能を備えています。さらに、祇園祭の舞台として、また東山観光の玄関口として、市民はもとより世界の人々を魅了しています。

当地区では、祇園がこれからも魅力的なまちであり続けることを目的として、平成22年5月に「祇園商店街振興組合まちづくり委員会」が設立され、積極的なまちづくりの取組が進められており、この

まちづくり委員会での議論等を踏まえ、概ね10年から20年後を見据えたまちづくりの方針を検討し、平成23年5月に祇園商店街振興組合により、「祇園まちづくりビジョン」が策定されています。

京都市では、平成24年8月に当地区において、まちづくりビジョンを実現するための取組の一つとして、祇園四条地区地区計画を定めています。



(2) 地域の将来像

① まちづくりの理念・基本的な考え方

京都を代表する幹線道路沿道の中心商業・業務地区として、高質な商業・文化・観光機能の誘導を図るとともに、八坂神社門前にふさわしい美しさ、清々しさを感じられる、歩いて楽しい市街地環境の形成を図ります。

② 地域の目標・将来像

地域のまちづくりビジョンのテーマである「日本の美意識と出会えるまち」、「清々しき参道」の実現に向け、以下に示す5つのまちづくりの方針を掲げ、まちづくりに取り組みます。

○ 方針1 「八坂神社の参道」に相応しい晴れがましさを感ずるまち

八坂神社の参道であり、また、祇園祭の舞台でもある当地区において、高質な商業・文化・観光機能を誘導するとともに、良質な環境と景観を有する魅力的な歩行者空間の形成を目指します。

○ 方針2 「ほんもの」だけが持つ心地よさが味わえるまち

○ 方針3 「心と心のやりとり」の場に相応しい美しさを磨き上げたまち

祇園がこれからも魅力的なまちであり続けるために、他にはない商品の提供や一級品のもてなし・サービスに取り組み、様々な方が集い、交流する場となることを目指します。

○ 方針4 「商道徳」に裏打ちされた奥ゆかしさに溢れるまち

京都を代表する幹線道路沿道の中心商業・業務地区として、まちが賑わい、商いが繁盛するのみならず、祇園を誇れるよう徳を積むことにより、奥ゆかしさに溢れるまちを目指します。

○ 方針5 「祇園の老舗」が守ってきたまちの仕来り・祇園祭に一致団結するまち

これまで祇園が積み重ねてきたまちの仕来りを守り、祇園祭の舞台として、地域に深く根付いたまちを目指します。

(3) 地域のまちづくりの方針

○ 方針1 建築物の用途の制限による建築物の整備・誘導

建築物の用途の制限により、清々しい参道を目指す当地区にふさわしい建築物の整備・誘導を図ります。

○ 方針2 四条通の歩道における快適な歩行者空間の確保

四条通の歩道については、快適な歩行者空間の確保を図ります。

○ 方針3 四条通沿道の1階部分における店舗の立地誘導

四条通沿道の1階部分については、物品販売業や飲食業を営む店舗の立地誘導を図ります。

○ 方針4 八坂神社参道にふさわしい景観の形成

四条通沿道の建築物等の形態・意匠・色彩等について適切な誘導を図ることにより、八坂神社参道にふさわしい景観形成を図ります。